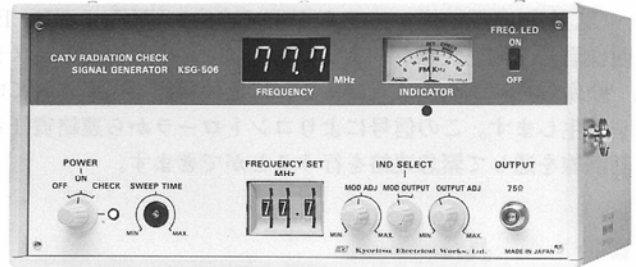


CATV漏洩チェック用発振器 KSG-506

76~99.9MHz

CATV漏洩チェック用発振器KSG-506は、CATV施設からの電波の漏洩箇所および外部の放送波などの電波妨害雑音の流入箇所を発見するための発振器です。

発振周波数は76~99.9MHzで、FM変調された信号をCATV施設に注入して、FM受信機（FMラジオ）を用いて漏洩箇所を発見します。他の信号と明確に区別できる様にFM受信機（FMラジオ）の復調音は、4種類の音が聞こえます。また電波の漏洩の強弱が分かる様に、KSG-506の出力を一周期中で4段階に自動的に変化させます。



■用 途

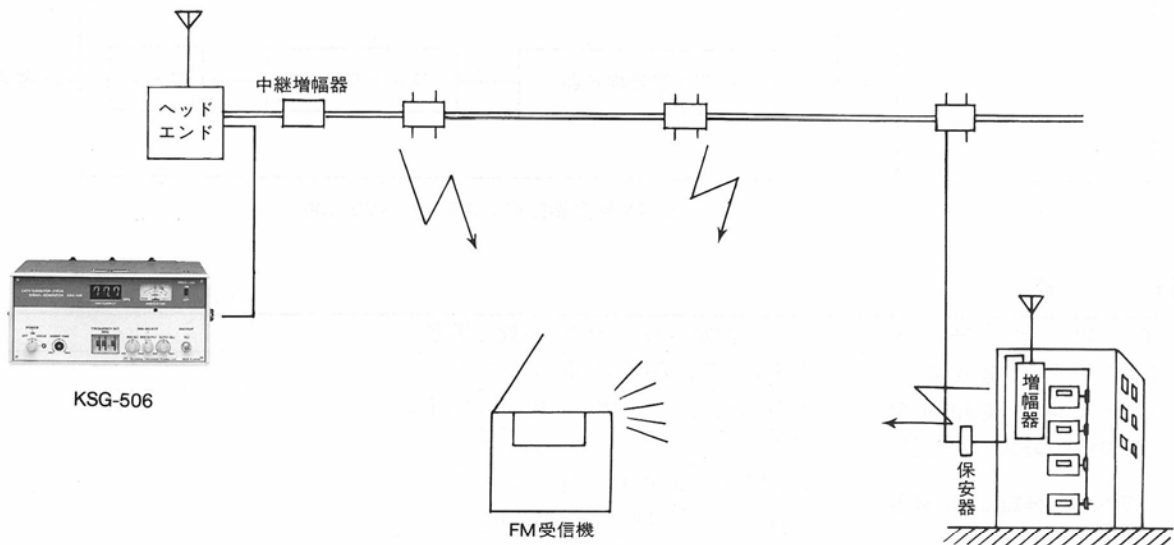
1. 既設のCATV伝送線路の保守・点検
 - 流合雑音の流入箇所の特定
 - 漏洩箇所の特定
 - 日常の点検業務のシグナルケース

2. CATV伝送線路工事の検査
 - 施工中のCATV伝送線路区間の漏洩チェック
 - 施工後のCATV伝送線路全体の漏洩チェック

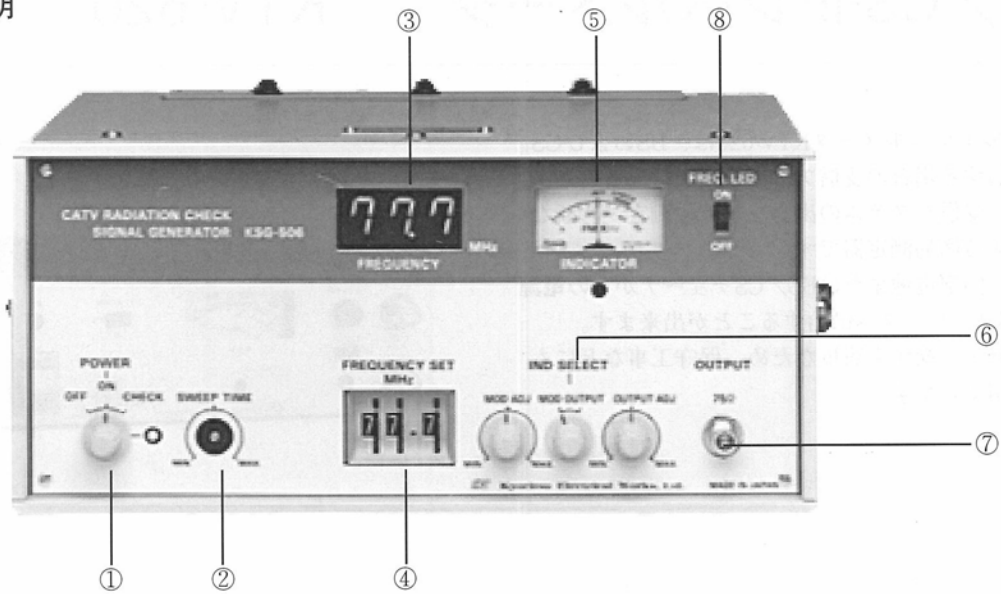
■特 長

- 音で確認をする方式のため、歩行中や自動車の運転をしながら漏洩箇所の特定ができます。
- 出力レベルと変調周波数が4段階に変化しますので、漏洩電波の強度が容易に分かります。
- 特別な受信機や電界強度計を使用しなくてもFMラジオ（シンセサイザー方式のラジオならばより便利）を使用して漏洩箇所の特定ができます。
- 周波数シンセサイザー方式の採用により、発振周波数設定精度と安定度が優れています。
- 小型・軽量でショルダータイプのため、移動測定に便利です。

■組合せ測定イメージ



■パネル面説明

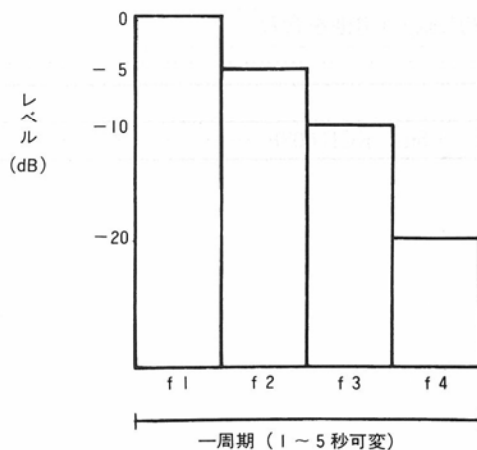


- ①電源スイッチ
- ②スイープ時間：1～5秒可変
- ③発振周波数：76～99.9MHz
- ④周波数セット：76～99.9MHz
- ⑤指示計
- ⑥指示選択
変調度調整：0～50kHz
出力調整：最大100dB μ V (75 Ω)
- ⑦出力端子：75 Ω F形コネクタ
- ⑧LED表示 ONN/OFF

■規 格

発振周波数	76～99.9MHz (最小ステップ 100kHz)
信号レベル	最大100dB μ V (75 Ω) レベル可変範囲 0～-20dB
自動レベル変化機構	一周期4段階のレベル変化 レベル変化 0、-5、-10、-20dB 周期 1～5秒可変
変調度	0～50kHz
出力インピーダンス	75 Ω (F形コネクタ)
電源	AC100V又は電池 UM-2 \times 12本
寸法・重量	260(W) \times 120(H) \times 165(D)mm、3.5kg
付属品	収容ケースKBG-605 1

■一周期内のレベルと変調周波数の変化



変調周波数 (Hz)	
f1	約 520
f2	約 660
f3	約 780
f4	約1050